

ビグアナイド系経口血糖降下剤  
日本薬局方 メトホルミン塩酸塩錠

**メトホルミン塩酸塩錠 250mg MT「DSEP」**  
**メトホルミン塩酸塩錠 500mg MT「DSEP」**

## 効能又は効果、用法及び用量追加のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は弊社製品につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、このたび上記製品の効能又は効果、用法及び用量の追加が承認されましたので、下記のとおりご案内申し上げます。  
今後とも引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

謹白

### 記

#### ● 今回の承認により追加された内容(下線部)

#### 4. 効能又は効果

##### ○2型糖尿病

ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。

(1)食事療法・運動療法のみ

(2)食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用

##### ○多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発、多嚢胞性卵巣症候群の生殖補助医療における調節卵巣刺激

ただし、肥満、耐糖能異常、又はインスリン抵抗性のいずれかを呈する患者に限る。

#### 6. 用法及び用量

##### 〈2型糖尿病〉

通常、成人にはメトホルミン塩酸塩として1日500mgより開始し、1日2～3回に分割して食直前又は食後に経口投与する。維持量は効果を観察しながら決めるが、通常1日750～1,500mgとする。なお、患者の状態により適宜増減するが、1日最高投与量は2,250mgまでとする。

通常、10歳以上の小児にはメトホルミン塩酸塩として1日500mgより開始し、1日2～3回に分割して食直前又は食後に経口投与する。維持量は効果を観察しながら決めるが、通常1日500～1,500mgとする。なお、患者の状態により適宜増減するが、1日最高投与量は2,000mgまでとする。

##### 〈多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発〉

他の排卵誘発薬との併用で、通常、メトホルミン塩酸塩として500mgの1日1回経口投与より開始する。患者の忍容性を確認しながら増量し、1日投与量として1,500mgを超えない範囲で、1日2～3回に分割して経口投与する。なお、本剤は排卵までに中止する。

##### 〈多嚢胞性卵巣症候群の生殖補助医療における調節卵巣刺激〉

他の卵巣刺激薬との併用で、通常、メトホルミン塩酸塩として500mgの1日1回経口投与より開始する。患者の忍容性を確認しながら増量し、1日投与量として1,500mgを超えない範囲で、1日2～3回に分割して経口投与する。なお、本剤は採卵までに中止する。

#### 【お願い】

・一般の効能又は効果、用法及び用量の追加に伴い、「5.効能又は効果に関連する注意」も改訂されておりますので、「改訂添付文書」と併せて参照賜りますよう、お願い申し上げます。

・ご使用に際しましては、弊社ホームページ(<https://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>)の「お知らせ」ならびに「電子化された添付文書(電子添文)」等を参照賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

以上

製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

**第一三共エスファ株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1

販売提携



Daiichi-Sankyo

**第一三共株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1